

インマヌエル富士見台キリスト教会 秋の映画上映会



人は人のために働いて
支え合い、
人のために死ぬ。
結局はそれ以上でも
それ以下でもない。

これは人間の仕事である。

あらすじ

1984年。クリスチャン医師の中村哲はハンセン病治療とアフガン難民の医療支援のためパキスタンに赴任する。現地住民と対話し信頼を重ねた医師は、2019年に凶弾に倒れるまで、戦乱と干ばつで荒れ果てた大地で暮らす人々のために、干ばつ対策の用水路を建設していく。

2024年 **10**月 **27**日【日】

中村哲は問う——“働く”とは何か、“仕事”とは何か、そして“平和”とは！

時間

13:30～15:00 (30分前受付開始) 上演時間約50分

会場

インマヌエル富士見台キリスト教会

〒177-0034 練馬区富士見台2-9-9

電話 03-3990-5963 Eメール stnoda@gmail.com

富士見台教会

検索

申込

不要 入場無料

ペシャワール会へのチャリティー募金にご協力ください



医師中村哲の 仕事・働く ということ

語り◎室井滋 朗読◎塚本晋也

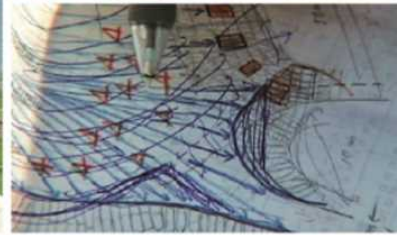
写真・映像提供◎ペシャワール会/PM S
企画・提供◎日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団
一般社団法人 日本社会連帯機構
製作◎日本電波ニュース社 HD/16:9/カラー/47分

主催：インマヌエル富士見台キリスト教会



医師中村哲の
仕事・働く
ということ

アフガニスタンとパキスタンで、
病や戦乱、そして干ばつに
苦しむ人々のために
35年にわたり
活動を続けた男がいた。



1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は「現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと」である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。



そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない！荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。

親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。

中村医師は言う「これは人間の仕事である」



【牧師より】 こんにちは、富士見台キリスト教会牧師の野田です。毎年秋にチャペルコンサートをしていましたが、今年は、クリスチャン医師中村哲さんの映画を上映することとなりました。ご存知の方も多いと思いますが、中村医師は、アフガニスタンの方々を隣人のように愛されました。聖書に「あなたの隣人を、あなた自身のように愛しなさい。」とあります。愛すること、ともに歩むことの大切さをこの映画は語りかけています。この秋の上映会にぜひ、お越しください。なお、故中村医師のペシャワール会へのチャリティー募金も行います。



《ペシャワール会とは》

1983年9月、中村哲医師のパキスタンでの医療活動を支援する目的で結成された国際NGO（NPO）団体です。中村哲医師が何者かに銃撃され亡くなった後も事業継続に全力を挙げています。



【ウェルカム礼拝】

☆11月3日（日）11:00~12:00

教会が初めての方のための礼拝です。
どなたでもお気軽においでください。

【通常礼拝】

☆主日礼拝 毎週日曜日 11:00~12:00

☆こども礼拝 毎週日曜日 10:30~10:50

☆祈り会 毎週水曜日 10:30~12:00

19:00~20:20

※どの集也会も、会堂とZOOMの併用です。
どなたでも自由にご参加ください。

青山学院などと同じメソジスト系のプロテスタント教会です。